

事業番号	05 11 01	事業改善シート (29年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	医薬品等の安全確保・適正使用の推進	部局	健康福祉部	課・室	薬事管理課	
		実施期間	S22 ~	E-mail	yakuji@pref.nagano.lg.jp	
しあわせ信州創造プラン(総合5か年計画)						
プロジェクト	4 健康づくり・医療充実プロジェクト					
施策の総合的展開	4-2 県民生活の安全確保 4 食品・医薬品等の安全確保					
	6-1 健康で長生きできる地域づくり 4 医療施策の充実					
	6-1 健康で長生きできる地域づくり 6 医薬品等の確保・適正使用の推進					

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品等の製造から販売までの各段階や、薬局・病院・診療所で取り扱う者に対して、法令遵守や資質向上のための研修会等を開催し、医薬品の取り扱いの適正指導を実施しているが、医薬品医療機器等法違反等はなくならない状況。 ・県内で必要となる血液は、概ね県内献血者による献血で確保できており、献血目標は3年連続で達成できているが、若年層献血者数が減少傾向にあり、将来にわたる安定した献血量確保が課題となる。 ・依然として後を絶たない薬物乱用を防止するため、県民各層に対し、薬物乱用がもたらす健康被害と社会に与える重大な弊害を周知し、薬物乱用防止意識の高揚を図り、薬物乱用のない社会環境づくりを推進する必要がある。 ・新型インフルエンザ等の発生とまん延に備えた抗インフルエンザウイルス薬の備蓄及び大規模災害や毒物劇物の事故発生時における医薬品等の備蓄・供給体制を整備する必要がある。 	29年度決算額	133,868 千円
		職員数	15.50 人

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品等の品質、有効性及び安全性を確保するため、医薬品等の製造販売業者・製造者・販売業者の資質向上を図り、薬局・病院・診療所における医薬品等の適正な取扱いを目指す。 ・長野県内で使用される輸血用血液製剤等の原料として必要な血液量を、県内の献血者血液により確保し、血液の安定供給を図る。 ・薬物乱用防止に関する意識の高揚を図り、覚醒剤、危険ドラッグ等の薬物乱用者を減少させる。 ・感染症の流行や災害時等緊急の事態に必要とされる医薬品等の備蓄・供給体制を整備することにより、県民の健康被害の拡大や保健衛生上の危害を防止する。 <p>(主な実施内容: 薬事関係許認可及び立入検査、若い世代への献血啓発事業、若い世代への薬物乱用防止意識啓発事業 など)</p>
------	--

区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	指標及びその達成状況							
					No	成果指標	27年度末	28年度末	29年度			
事業 予算額	前年度繰越	3,848										
	当初予算	38,992	138,253	285,744	269,643							
	補正予算	-1,262	-51,571	-145,683								
	合計(A)	41,578	86,682	140,061	269,643	①	薬事監視実施率(%)	30.7	29.5	30	29.7	未達成
コスト Aの財源	一般財源	12,759	62,059	116,158	248,656	②	献血目標達成率(%)	100.4	100	100	99.4	未達成
	県債											
	国庫支出金	7,229	8,289	8,853	10,283							
	その他	21,590	16,334	15,050	10,704							
決算額(B)	35,463	81,154	133,868									
概算 人員 費	職員数(人)	15.50	15.50	15.50	15.50							
	概算人件費(C)	128,278	122,667	125,581	125,581							
概算事業費(B(A)+C)	163,741	203,821	259,449	395,224								

成果指標設定理由	① 薬局、医薬品等製造業などの薬事関係許認可施設に対する立入検査実施率を成果指標に設定(長野県総合5か年計画目標値) ② 平成29年度長野県献血推進計画において定める献血での血液確保量に対する達成率を成果指標に設定
----------	--

目標に対する成果の状況	① 対象施設数の増加等により、わずかに目標達成には至らなかったが、必要な監視指導を着実に実施することができ、医薬品等の適正使用を推進することができた。 ② 若年層献血者数の減少等が影響し、目標に達していないが、県内の医療機関で必要とされる血液が不足するような事態が生じることはなく、安定した需給状況であった。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	課題	今後の方向性
	① 医薬品等の品質、有効性及び安全性を確保する必要がある。 ② 血液は長期に保存することができず、また人工的に製造することもできないため、常に献血により確保し続けていく必要がある。	① 医薬品等の製造から販売までの各段階での許可業者の資質向上及び病院・診療所における医薬品等の適正な取扱いを推進する。 ② 献血者数は全体的に減少傾向であるので、将来の献血者数の確保のためにも、10~30代の若年層への啓発を重点的に行う。	

3 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	プロジェクトNo	細事業名	29年度 実施内容(実績)	職員数(人)	29年度		30年度(当初)
					(当初)	(決算)	
1		医薬品等監視指導事業	医薬品等の品質、有効性及び安全性を確保するため、薬事関係許認可事務、監視指導及び業務上取扱者に対する研修会を実施	7.80	7,793	6,468	12,648
2		医薬品等安全対策事業	医薬品等類似商品(いわゆる健康食品等)による健康被害を未然に防止するため、当該商品の試買及び成分分析を実施	1.00	203	155	203
3	4-4-1	医薬品適正使用・環境整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用促進のため、県民への情報提供(セミナー開催を含む)を実施 ・薬局のかかりつけ機能強化のため、関係団体と連携し、モデル事業を実施 	0.40	7,132	6,307	8,164

No	プロジェクト No	細事業名	29年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	29年度		30年度 (当初)
					(当初)	(決算)	
4		医薬品取扱費	疾病予防、緊急治療時の需要、感染の拡大防止のため、一般に流通していない国有ワクチン・抗インフルエンザウイルス薬の備蓄を実施	0.10	253,863	106,092	232,952
5		災害用医薬品等対策費	災害等の緊急の事態に速やかに対応するため、緊急に必要とされる医薬品及び衛生材料の備蓄に対する補助事業の実施	0.10	889	879	889
6		献血普及啓発事業	血液の安定供給を図るため、県民への幅広い献血啓発活動及び若い世代に対する献血啓発の推進	2.20	5,021	4,114	5,110
7		菅平薬草栽培試験地管理事業	・生薬に関する正しい知識の普及啓発を行うため、菅平薬草栽培試験地の環境整備を実施 ・本県に適した優良種苗の栽培研究のため、大学等関係機関と連携し生薬等の基礎研究を実施	0.20	3,947	3,514	2,702
8		薬物乱用防止啓発事業	薬物乱用がもたらす健康被害、社会に与える重大な被害を広く周知し薬物乱用のない社会環境づくりを推進するため、薬物乱用防指導員の設置、若い世代への意識啓発を実施	1.40	2,715	2,283	2,680
9		毒劇物安全対策費	・毒物劇物の適正な取扱いと保管管理徹底のため、毒物劇物業者等の登録・許可及び講習会の実施 ・災害等による毒物劇物の漏えい等に迅速に対応するため、毒物劇物事故処理剤備蓄に対する補助事業の実施	2.20	1,471	1,346	1,479
10		地域医療介護総合確保基金事業(医療分野)	地域における医療及び介護の総合的な確保を促進するため、薬剤師の在宅医療研修、薬剤師の復職支援事業等を実施	0.10	2,710	2,710	2,816
合計				15.50	285,744	133,868	269,643

事業改善シート附表

事業番号 05 11 01	事業名	医薬品等の確保・適正使用及び県民生活の安全確保に係る事業				部局	健康福祉部		課・室	薬事管理課		<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検						
		細事業No	細事業名	項目	実施方法		29年度 実施内容（予定）	29年度 実施内容（実績）		29年度 実施状況	27年度	28年度	29年度			総合5か年計画プロジェクト		県民協働事業改善
当初(千円)	当初(千円)					要求(千円)			当初(千円)		補正(千円)	決算(千円)	番号	施策の総合的展開	予算(千円)	実施年度	主な点検区分結果	
1	医薬品等監視指導事業	許認可事務及び監視指導	直接	・医薬品等の品質、有効性及び安全性を確保するため、薬事関係許認可事務（GMP等実施状況調査を含む）及び監視指導（立入検査及び収去試験）を実施 ・国のPIC/S加盟に伴い必須となったGMP調査体制を整備するため、GMPリーダー調査員の継続的養成等を実施	・医薬品等の品質、有効性及び安全性を確保するため、薬事関係許認可事務（GMP等実施状況調査を含む）及び監視指導（立入検査及び収去試験）を実施 ・国のPIC/S加盟に伴い必須となったGMP調査体制を整備するため、GMPリーダー調査員の継続的養成等を実施	計画通り ○	12,487	7,804	15,426	7,596	6,428		4-2,4				05-10-01	
1	医薬品等監視指導事業	技術研修会	直接	・医薬品等製造販売業者・製造業者・販売業者等の資質向上を図るため、研修会を実施	・医薬品等製造販売業者・製造業者・販売業者等の資質向上を図るため、研修会を実施	計画通り ○	197	197	197	197	40		4-2,4				05-10-01	
2	医薬品等安全対策事業	医薬品類似商品安全対策	直接	・医薬品等類似商品（いわゆる健康食品等）による健康被害を未然に防止するため、当該商品の試買及び成分分析を実施	・医薬品等類似商品（いわゆる健康食品等）による健康被害を未然に防止するため、当該商品の試買及び成分分析を実施	計画通り ○	243	1,324	203	203	155		4-2,4				05-10-02	
3	医薬品適正使用・環境整備事業	ジェネリック医薬品使用促進事業	直接	・後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進のため、県民への情報提供（セミナー開催を含む）を実施	・後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進のため、県民への情報提供を実施	計画通り ○	1,683	1,589	1,942	1,942	1,153		6-1,6	H27	現行どおり		05-10-03	
3	医薬品適正使用・環境整備事業	患者のための薬局ビジョン推進事業	直接	・薬局のかかりつけ機能強化のため、関係機関・団体との推進会議を実施	・薬局のかかりつけ機能強化のため、関係機関・団体との推進会議を実施	計画通り ○	606	203	258	258	258	4-4-1	6-1,6	258	H27	現行どおり	05-10-03	
			委託	・薬局のかかりつけ機能強化のため、関係機関・団体と連携し、モデル事業を実施	・薬局のかかりつけ機能強化のため、関係機関・団体と連携し、モデル事業を実施（委託先：長野県薬剤師会）	計画通り ○	4,479	5,000	4,742	4,742	4,742	4,742	4-4-1	6-1,6	4,742	H27	現行どおり	05-10-03
3	医薬品適正使用・環境整備事業	医薬品有効性確保・副作用対策事業	直接	・医薬品等業務上取扱者への指導及び消費者への啓発等のため、関係書籍の購入を実施	・医薬品等業務上取扱者への指導及び消費者への啓発等のため、関係書籍の購入を実施	計画通り ○	190	190	190	190	154		6-1,6				05-10-03	
4	医薬品取扱費	国有ワクチン等の備蓄・供給	直接	・国有ワクチン等の特殊なワクチン及び緊急治療用血清類を迅速に供給するため、これらワクチン等の備蓄及び供給体制の確保を実施	・国有ワクチン等の特殊なワクチン及び緊急治療用血清類を迅速に供給するため、これらワクチン等の備蓄及び供給体制の確保を実施	計画通り ○	1,516	1,580	3,703	3,703	2,255		6-1,6				05-10-04	
4	医薬品取扱費	抗インフルエンザウイルス薬の備蓄	直接	・新型インフルエンザ等の発生とまん延に備え、健康被害及び経済への影響を最小限にとどめるため、抗インフルエンザウイルス薬の備蓄及び供給体制の確保を実施	・新型インフルエンザ等の発生とまん延に備え、健康被害及び経済への影響を最小限にとどめるため、抗インフルエンザウイルス薬の備蓄及び供給体制の確保を実施	計画通り ○	0	103,641	250,160	250,160	-145,683	103,837		6-1,6				05-10-04
5	災害用医薬品等対策費	医薬品及び衛生材料の確保	補助金	災害時に必要となる医薬品及び衛生材料を確保するため、備蓄に対する補助を実施。（補助先：長野県医薬品卸協同組合、長野県医療機器販売業協会）	災害時に必要となる医薬品及び衛生材料を確保するため、備蓄に対する補助を実施。（補助先：長野県医薬品卸協同組合、長野県医療機器販売業協会）	計画通り ○	800	800	800	800	799		6-1,6				05-10-05	
			直接	薬事管理課及び保健福祉事務所において、事故発生時の応急処置をするための医薬品を配備する。	薬事管理課及び保健福祉事務所において、事故発生時の応急処置をするための医薬品を配備	計画通り ○	89	89	89	89	80	80		6-1,6				05-10-05
6	献血普及啓発事業	啓発及び体験機会の提供	直接	・幅広く啓発を行うためにラジオによる啓発を実施 ・気軽に献血できるように献血場所を提供 ・若い世代に献血していただけるよう啓発を実施	・幅広く啓発を行うためにラジオによる啓発を実施 ・気軽に献血できるように献血場所を提供 ・若い世代に献血していただけるよう啓発を実施	計画通り ○	3,800	4,602	4,468	4,468	3,583		6-1,6				05-10-06	
6	献血普及啓発事業	関係団体との連携	直接	献血周知のため関係団体等と連携して啓発を実施 ・長野県献血推進協議会の開催 ・長野県献血推進員（40名）による啓発活動	献血周知のため関係団体等と連携して啓発を実施 ・長野県献血推進協議会の開催 ・長野県献血推進員（40名）による啓発活動	計画通り ○	558	553	553	553	531		6-1,6				05-10-06	
7	菅平薬草栽培試験地管理事業	菅平薬草栽培試験地管理事業	直接	・希少優良種の保存・選抜のため、ダイオウの継承栽培を実施 ・試験地等で栽培した薬草の成分評価のため、環境保全研究所で試験検査を実施 ・来場者が快適に薬草に親しむ環境づくりのため、見本園、自然園及び研修棟等施設の整備・修繕を実施 ・県民への生薬の普及啓発のため、観察会等により試験地を活用 ・財源確保のため、ネーミングライツパートナーを確保	・希少優良種の保存・選抜のため、ダイオウの継承栽培を実施 ・試験地等で栽培した薬草の成分評価のため、環境保全研究所で試験検査を実施 ・来場者が快適に薬草に親しむ環境づくりのため、見本園、自然園及び研修棟等施設の整備・修繕を実施 ・県民への生薬の普及啓発のため、観察会等により試験地を活用 ・財源確保のため、ネーミングライツパートナーを確保	計画通り ○	1,455	407	2,233	2,050	1,618		6-1,6				05-10-07	
			委託	日常的な試験地整備及び来訪者への対応が必要なため管理を委託（委託先：長野県薬草生産振興組合）	日常的な試験地整備及び来訪者への対応が必要なため管理を委託（委託先：長野県薬草生産振興組合）	計画通り ○	1,897	1,897	1,897	1,897	1,897	1,896		6-1,6				05-10-07

事業番号	事業名	医薬品等の確保・適正使用及び県民生活の安全確保に係る事業				部局	健康福祉部	課・室	薬事管理課		<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検							
細事業No	細事業名	項目	実施方法	29年度 実施内容（予定）	29年度 実施内容（実績）	29年度 実施状況	27年度	28年度	29年度				総合5か年計画プロジェクト		県民協働事業改善		備考 (H28事業番号)	
							当初(千円)	当初(千円)	要求(千円)	当初(千円)	補正(千円)	決算(千円)	番号	施策の総合的展開	予算(千円)	実施年度		主な点検区分結果
8	薬物乱用防止啓発事業	長野県薬物乱用対策推進協議会の運営	直接	長野県の薬物乱用意識の醸成のため、加盟団体を通じた啓発活動及び「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の実施	長野県の薬物乱用意識の醸成のため、加盟団体を通じた啓発活動及び「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の実施	計画通り ○	168	168	168	168		84		4-2,4			05-10-08	
8	薬物乱用防止啓発事業	薬物乱用防止指導員の活動	直接	地域での薬物乱用防止啓発を推進するため、薬物乱用防止指導員を設置（373人）	地域での薬物乱用防止啓発を推進するため、薬物乱用防止指導員を設置（373人）	計画通り ○	1,414	1,415	1,281	1,281		1,217		4-2,4			05-10-08	
8	薬物乱用防止啓発事業	薬物乱用防止意識啓発	直接	・若い世代への薬物乱用防止啓発のため、FM長野のラジオスポットを活用して集中的な啓発活動を実施 ・大学、専修学校、各種学校の学生指導担当者を対象に研修会を実施	・若い世代への薬物乱用防止啓発のため、FM長野のラジオスポットを活用して集中的な啓発活動を実施 ・大学で学生及び学生指導担当者を対象に講習会を実施	計画通り ○	427	660	762	762		479		4-2,4			05-10-08	
			委託	若い世代への薬物乱用防止啓発のため、高等学校で薬物乱用防止教室を実施	若い世代への薬物乱用防止啓発のため、高等学校で薬物乱用防止教室を実施(委託先：長野ダルク)	計画通り ○	504	504	504	504		503		4-2,4			05-10-08	
9	毒物劇物安全対策費	監視指導	直接	・保健衛生上の危害防止のため、毒物及び劇物取締法に基づき毒物劇物営業業者等の登録・許可等の電算処理を実施。 ・毒物劇物営業業者等における毒物劇物の取扱い等の適正化のため、立入検査を実施。 ・毒物劇物に関する適正な取扱いや保管管理の徹底を図るため、危害防止運動を実施。（2回） ・毒物劇物に関する安全意識の高揚を図り、保健衛生上の危害防止のため、毒物劇物事故対策研修会を実施。（1会場、1回）	・保健衛生上の危害防止のため、毒物及び劇物取締法に基づき毒物劇物営業業者等の登録・許可等の電算処理を実施。 ・毒物劇物営業業者等における毒物劇物の取扱い等の適正化のため、立入検査を実施。 ・毒物劇物に関する適正な取扱いや保管管理の徹底を図るため、危害防止運動を実施。（2回） ・毒物劇物に関する安全意識の高揚を図り、保健衛生上の危害防止のため、毒物劇物事故対策研修会を実施（1会場、1回）	計画通り ○	707	883	707	707		619		4-2,4			05-10-09	
9	毒物劇物安全対策費	空気呼吸器保守点検	直接	毒物劇物による事故等の有事に備えるため、保健所に主に配備した空気呼吸器の保守点検・空気の充填（11ヶ所、17本）を実施及び法令の規定による耐圧試験（4ヶ所、4本）も実施。	毒物劇物による事故等の有事に備えるため、保健所に主に配備した空気呼吸器の保守点検・空気の充填（11ヶ所、17本）を実施及び法令の規定による耐圧試験（4ヶ所、7本）も実施	計画通り ○	272	272	264	264		227		4-2,4			05-10-09	
9	毒物劇物安全対策費	毒物劇物事故処理剤備蓄補助事業	補助金	毒物劇物の事故発生に伴う危害防止ため、毒物劇物事故処理剤備蓄に対する補助を実施。（7ヶ所、6品目）（補助先：長野県医薬品卸協同組合）	毒物劇物の事故発生に伴う危害防止ため、毒物劇物事故処理剤備蓄に対する補助を実施（7ヶ所、6品目）（補助先：長野県医薬品卸協同組合）	計画通り ○	500	500	500	500		500		4-2,4			05-10-09	
10	地域医療介護総合確保基金事業（医療分野）	薬剤師を活用した在宅医療研修会	補助金	在宅医療に対応できる薬剤師の資質向上を図るため、薬剤師に対する研修事業を実施	在宅医療に対応できる薬剤師の資質向上を図るため、薬剤師に対する研修事業を実施（補助先：長野県薬剤師会 補助率10/10）	計画通り ○	1,000	830	1,240	830		830		6-1,4			05-10-10	
10	地域医療介護総合確保基金事業（医療分野）	薬剤師復職・就業支援事業	補助金	病院・薬局等における薬剤師の適正な配置を確保するため、潜在薬剤師等の復職・就業支援事業を実施	病院・薬局等における薬剤師の適正な配置を確保するため、潜在薬剤師等の復職・就業支援事業を実施（補助先：長野県薬剤師会 補助率10/10）	計画通り ○	4,000	2,384	4,500	1,880		1,880		6-1,4			05-10-10	
10	地域医療介護総合確保基金事業（医療分野）	薬局等における医療材料等提供体制整備事業	補助金	—	—		0	761	0	0								
合 計								38,992	138,253	296,787	285,744	-145,683	133,868		5,000			